

# 赤ちゃんがいる家庭は 特に注意を RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、秋から徐々に患者が増え、12月くらいにピークを迎える感染症です。この病名を初めて聞いたという人もいるかもしれませんが、乳幼児や持病のある子どもが感染すると重症化することがある病気です。

秋から冬は、風邪やインフルエンザが流行する季節でもあります。改めて家族で感染症対策を考えてみましょう。



## 冬の風邪のほとんどがRSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とする**急性呼吸器感染症**です。9月くらいから患者が増え始め、例年、11～12月にピークを迎えます。急性呼吸器感染症というと、こわい病気と思われかもしれませんが、冬の風邪のほとんどがRSウイルス感染症で、だれでも感染したことがある病気です。1歳までに50～70%、2歳までに100%の子どもがRSウイルス感染

症にかかります。何度も繰り返し感染するので、乳幼児や小中高生に限らず、大人も何度もかかっていると考えられます。潜伏期間は2～8日、よく出る症状は、鼻水、鼻づまり、咳、発熱です。重症化すると、気管支炎や肺炎を起すことがあります。重症化しやすいのは、1歳未満の乳児、低出生体重児や心臓や肺などに病気のある乳幼児です。また、高齢者も感染すると気管支炎や肺炎を起しやすいといわれています。RSウイルス感染症かどうかは、迅速診断キットを使ってウイルス

監修

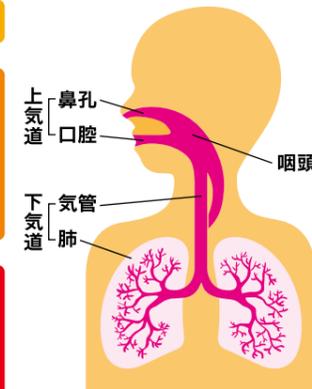


医療法人鉄医会ナビタスクリニック 理事長

久住 英二 先生 (くすみ・えいじ)

●略歴

1999年、新潟大学医学部卒業。国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科で悪性リンパ腫、白血病の治療に従事。2008年、JR立川駅（東京都立川市）の駅ナカにナビタスクリニック立川を開設。現在、新宿駅、川崎駅でもナビタスクリニックを展開する。日本内科学会認定医、日本血液学会専門医。専門は血液内科、旅行医学、予防接種。



### RSウイルス感染症の症状

- 潜伏期間 2～8日
- 一般的な症状
  - 上気道炎
    - 鼻水
    - 咳
    - のどの痛みや腫れ
    - 発熱
- 重症化すると…
  - 下気道炎
    - 呼吸が浅く、呼吸数が増える
    - 呼吸がゼイゼイする
    - 肩で息をするようになる
    - 母乳や哺乳瓶を吸わない

検査を行えばわかります。インフルエンザのウイルス検査と同じように、鼻の中に器具を入れて粘液を採取し、ウイルスの有無を調べる検査法です。

ただし、このウイルス検査が保険で受けられるのは、1歳未満の乳児と、入院が必要と判断された、ないし入院中の子ども、および感染後の重症化を防ぐ注射薬（モノクローナル抗体）が保険適用となる乳幼児（表）です。それ以外の人は、検査を受けてRSウイルス感染症とわかっていても特効薬はないですから検査は不要と考えられます。1歳未満の乳児に関しては、20～30%が重症化すると報告もあります

### RSウイルスを予防する注射薬が保険で使える人

(RSウイルス感染症が重症化しやすい人)

- ・在胎期間 28週以下の早産で1歳未満の乳児
- ・在胎期間 29～35週の早産で、生後6か月以下の新生児
- ・過去6か月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた2歳以下の乳幼児
- ・先天性の心臓病が免疫不全、あるいは、ダウン症候群で2歳以下の乳幼児

が、ウイルス検査が普及した現在では、想定以上に乳幼児の感染頻度が高いことがわかり、重症化の頻度は1%未満ではないかとみられています。



## 乳幼児対象の重症化予防薬も

この感染症を予防するワクチンや特効薬はありません。治療するとしたら、鼻水を抑える薬や解熱鎮痛薬を服用しますが、多くの人は放っておいても時間が経てば治ります。医療機関を受診する必要があるのは、乳幼児や高齢者で、熱があつてぐったりしている、母乳、ミルク、食事、水分がとれない、目線が合わないなど、重症化のサインがみられるときです。在胎期間28週以下の早産で1歳未満の乳児など、RSウイルス感染症になると重症化しやすい乳幼児は、流行期の10月～2月、1か月に1回抗体薬を注射し、感染時の発病や重症化を防ぐようにします。なお、RSウイルス感染症になったとしても、高熱が出る、食欲がないといった状態でない限り、保育園や幼稚

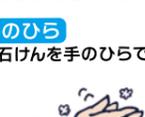
園、学校を休む必要はありません。感染しても症状が出ていない人もいますからです。感染を予防するには、ほかの感染症やインフルエンザと同じで、食事の前や外出先から帰ったときなどに、石けんでよく手を洗うことが大切です。

### 正しい手の洗い方

1 流水で  
流水で手を濡らし



2 石けんで  
適量の石けんを手にとりませ



3 手のひら  
まず石けんを手のひらで泡立てませ



4 手のこ  
両手を組んで、指の間や手の甲をまんべんなく洗います



5 指  
指も1本ずつ洗いねいに洗います



6 指先と爪  
指先や爪の間も洗います



7 手首  
忘れずに手首も洗います



8 流水  
流水で石けんを洗いねいに流します



9 拭く(乾かす)  
ペーパータオルか個人用の清潔なタオルでふき取り、乾かします

